

平成 29 年 1 月 24 日発行  
京都府丹後保健所 企画調整室  
(丹後地域包括ケア推進ネット)

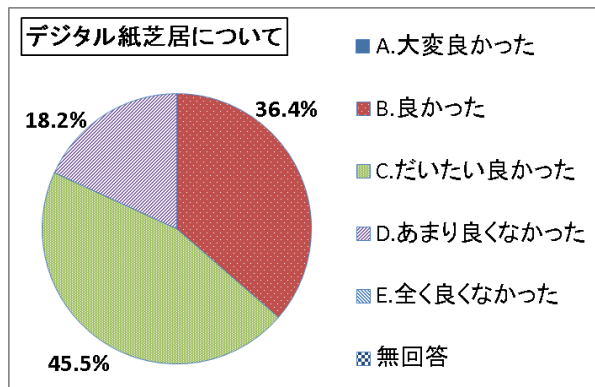
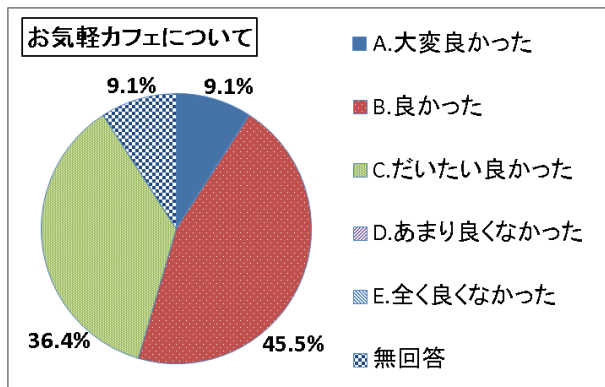
## 1 平成 28 年度 地域包括ケア実践交流会「お気軽サミット in 丹後」について

去る 12 月 7 日（水）に野田川わーくぱるにおいて、開催されたイベントのコーナーの一部としてオレンジロードつなげ隊の啓発活動を行いました。

当日は与謝郡と宮津市内の隊員が、認知症初期対応型カフェの出張型として「お気軽カフェ」を開設し、管内の認知症カフェから提供いただいたカフェ風景の写真や参加者の作品の展示、飲み物の提供などのほか、デジタル紙芝居を 3 回行いました。



## 2 従事した隊員の声



- ♪ 予想はしていたが、劇の合間に多くの方が来られ、席が座れないほどだった。デジタル紙芝居と同スペースであり、ゆっくりしたい方と紙芝居を見たい方が一緒になってしまったかもしれない。展示ブースは、見ておられる方が少なかった。
- ♪ コーヒーを入れる音で話し声が聞き取りにくく、部屋の外でコーヒーを入れる方が良かった。人前で紙芝居は緊張したけれど楽しかった。
- ♪ 認知症に関する情報（紙一枚くらいで持ち帰り自由的な物）がテーブルに置いてあれば手に取って見てもらえたかも…
- ♪ 利用された方の笑顔が見られ良かったです。
- ♪ 初めてだったのでうまくできるかどうか、集客がどうか気になっていた。良い紙芝居なので、またできる機会があれば良い。もう少し多くの人に見てもらえるようにすれば良かった。
- ♪ 楽しかったです。参加できて良かったです。

## 3 来場者アンケートより

- ♪ 丹後の中で様々な方が連携され、素晴らしいと思った。いろいろ参考にさせていただきたい。
- ♪ 様々な取り組みを知れて良かった。
- ♪ たのしく学べて良い取り組みだと思えます。
- ♪ もう少しゆっくりブースを回る事が出来ればよかった。次も出席したい。
- ♪ 初めて参加させていただき大変よかった。来年も参加させて下さい。

スタンプラリーの効果もあり、約100名の体験がありました。

また、来場者アンケートの「良かったコーナーは？」の設問に、約3割の方が「お気軽カフェ」を挙げておられました。

「認知症カフェの出張型」と「デジタル紙芝居」のコラボという新しい取組でしたが、評価も高かったため機会があれば、次年度も取り組めればと思います。

